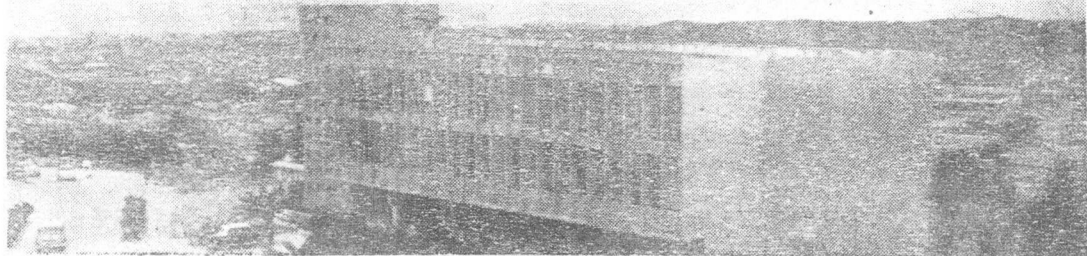


びぶりお



Vol.6 No.2 The University of the Ryukyus Library Bulletin 1972.4.20

資料の検索・入手<4>

所蔵目録の利用

資料の検索・入手<3>で述べた二次資料を駆使して、みつけた文献は、どこで、どうやって現物を手にいれることができるだろうか。

文献目録ができればまず自分たちの図書館で資料検索をやり、それから他の図書館にあたるべきである。

これは当然の作業順序であり、かゝる資料はないようで案外自分の足もとにあったというケースが少なくないからである。

I. 図書館で作られる目録類

それぞれの図書館で、資料検索のために作られる目録のことという。図書館に受け入れられた資料はすべて目録カードに記録されるので資料の有無はただちに調べることができる。

雑誌受入カードの検索 — 雑誌名のABC順に排列されており、受け入れられ次第、巻号、出版年月日などが記録されるのでどんな雑誌があり、また何巻何号、何年何月号まであるかすぐわかるようになっていいる。

製本済雑誌基本カードの検索——継続的に受け入れられた雑誌、または未製本の形で受け入れられた雑誌については前述の受け入れカードを調べるだけでよいが、製本(合本)済みの形で受け入れられたバック・ナンバー(右雑誌)については雑誌基本カードを調べなければ所蔵を確認することはできない。

なぜなら、これらの資料は雑誌受入カードには所蔵の記録が行なわれなからである。

雑誌基本カードの排列は分類順になっているので探してもとめている雑誌の請求記号で調べればよい。

要するに資料の所蔵確認は該当するすべての目録類にあたればよいことになる。

II. 既成の目録類

一館であらゆる文献を収集することは不可能であり、図書館にない文献については当然他の図書館に頼らざるをえない。

したがって世館の所蔵目録や、総合目録(二つ以上の図書館の文献所蔵に関する目録)が必要になってくる。

< 国内の総合目録 >

「学術雑誌総合目録」——自然科学——は、和文、欧文編にわかかれており、東京電機大学出版局から1968年と1966年に発行された。

この総合目録は、全国に分散している雑誌文献の所在を知るためには欠くことのできない二次資料であり、相互貸借ならびに文献複写に非常に役立っている。

収録対象は国立国会図書館をはじめ、全国の主要な国、公、私

立大学図書館，各省庁所轄研究機関，民間研究機関図書館などが所蔵する自然科学雑誌資料を収録したものである。

雑誌の排列は誌名のABC順になっているので探しもとめている雑誌名で探せばよい。

各雑誌の所蔵は，大学図書館の北海道から鹿児島へ，次に研究機関図書館の順になっている。

< 国外の総合目録 >

「World list of Scientific Periodicals」 Vols. 1~3 4th ed. ロンドンのButterworth社から1963~1965年にかけて出版された。

収録対象は，1900~1960年に発行された世界の科学関係雑誌についての英国の総合目録で世界的に有名である。

雑誌のタイトル数は約6万種。雑誌の排列はABC順になっており，略誌名もそれぞれついている。

所蔵表示は巻号はなく，発行年のみ。

各誌の記載順序は，資料番号，雑誌名，出版社，出版地，略誌名，所蔵館 及び所蔵年となっている。

以上述べた目録類で雑誌文献の所在を確認し，現物入手することになる。

[雑誌担当 参考司書 新井 裕文]

図書館事情

図書館長交替・館長(教育学部教授)長浜克重氏が4月1日付で教育学部長就任のため退任。4月1日付で新館長に商学科教授・島村潤一氏が就任された。

第66回図書館運営委員会開く。3月31日(金) PM.2.00～
議題: 図書館運営に関する基本方針(案)について

図書館研修会

東京大学総合図書館整理課長・田辺 宏氏の講義を法文ビル教室で開催した。

3月13日(月) 14.00～16.00.

機械化とは何か 電子計算機の構造と働き 図書館業務への適用の動き。

3月14日(火) 14.00～16.00

わが国における機械化の現状 外国雑誌一括購入業務と医学図書館雑誌受入業務。

3月15日(水) 14.00～16.00

洋書、和書の機械化について。

3月16日(木) 13.00～17.00

図書の不用品決定 廃棄・失の処理。図書の購入と収書。大学図書館と司書取制度。

琉球大学付属図書館報 "ウヰリお" 第6巻2号(通号・21号)

1972年4月20日発行 編集兼発行人 平良 恵仁

沖縄・那覇市当蔵町3丁目1番地 Tel 34 0101 (240)